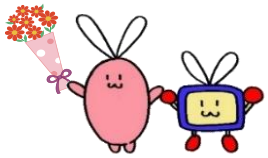
放送大学 岩手学習センター 機関誌

文部科学省認可通信教育

イーハトーブ







ご卒業・ご入学おめでとうございます

209号(2026年11月)

＜イーハトーブ２０９号　目次＞

客員教員から	・・・・・１ページ
学位記授与式	・・・２～５ページ
事務室からのお知らせ①	・・・・・６ページ
事務室からのお知らせ②	・・・・・７ページ
面接授業科目の追加登録について	・・・・・８ページ
システムWAKABAについて	・・・・・９ページ
センター外視聴施設のご案内	・・・・１０ページ
教務スケジュール	・・・・１１ページ

放送大学 岩手学習センター

〒020－8550　盛岡市上田3-18-8（岩手大学構内）
Email：iwate.center@gmail.com
TEL：019（653）7414　FAX：019（653）7410
放送大学Webサイト:https://www.ouj.ac.jp
岩手学習センターWebサイト：
https://www.sc.ouj.ac.jp/center/iwate/

水沢校：水沢地区センター　１階
〒023-0063　奥州市水沢聖天８５－２
TEL：0197（23）3165

釜石校：青葉ビル　１階
〒026-0024　釜石市大町３－８－３

※釜石校を利用する際は事前に予約が必要です。
予約先　TEL：0193（52）0070
（釜石市市民生活部まちづくり課）

二戸校：二戸市立図書館　３階
〒028-6103　二戸市石切所字狼穴１－１
TEL：0195（23）3447

機関誌「イーハトーブ」の由来

‘イーハトーブ’とは、宮沢賢治による造語であり、岩手のことをエスペラント語風に美しく名詞化したものです。
賢治の考えるイーハトーブとは、田園の風と光に満ちたドリームランドで、不思議な楽しい国土として賢治の心象中に実在し、そこから詩や童話としての心象スケッチが生み出されました。
このようなドリームランドを当学習センターでも実現させたいと思い、機関誌の名称を「イーハトーブ」と命名しました。





菊地　洋　先生
KIKUCHI HIROSHI
岩手学習センター客員教員／岩手大学教育学部准教授
〔専門分野 / 公法学〕

震災の記憶を、これからを生きる力に
－震災を知らない世代への伝承

東日本大震災から 15 年が過ぎました。いま学校で学ぶ子どもたちの多くは、震災当時の記憶を持っていません。震災を経験していない世代に、何を、どのように伝えていけばよいのでしょうか。被害の様子や避難の教訓を伝えることは、もちろん欠かせません。ただ、それだけで十分なのかという問いも残ります。岩手県沿岸の学校で続けられてきた取り組みから考えてみたいと思います。

１．地域の人と出会い、地域を知る

震災について学ぶ方法は、教科書や映像だけではありません。地域を歩き、そこで暮らす人の話を聞くことにも、大きな意味があります。

野田村の小中学校で取り組まれてきた「ふるさと学習」や「太陽プロジェクト」では、震災や防災に加え、村の自然や特産品、地域の仕事や暮らしにも目を向けてきました。大槌町の「ふるさと科」でも、地域の人々から話を聞き、実際に現地を訪ねる学習が行われています。自分の暮らす場所を知り、そこに生きる人々の思いに触れる。そうした経験があってこそ、震災は単なる過去の出来事ではなく、自分の生活につながる問題として考えられるのではないでしょうか。

２．被害を知ることと、地域の未来を考えること

震災伝承というと、被害の大きさや悲しみを伝えることに目が向きがちです。しかし、被災地の歩みには、困難のなかで暮らしを立て直し、地域を支えようとしてきた人々の姿もあります。野田村の中学校で続けられている「創作太鼓」は、その一例です。震災の翌年、「私たちが野田村の太陽になろう」という思いから始まった活動では、生徒たちが太鼓を通じて地域に元気を届けてきました。子どもたちが地域を励ます側にもなれることは、注目すべき点だと思います。地域への愛着や誇りは、いざというときに自分たちの命や暮らしを守ろうとする気持ちにもつながっていくでしょう。

３．震災を知らない世代に、何を伝えるのか

震災の記憶を風化させないことは大切です。同時に、記憶を受け継ぐこと自体を目的にしてしまわないようにしたいと思います。

避難訓練や災害についての知識は必要です。しかし、なぜ備えるのか、自分は地域で何ができるのかを考える機会がなければ、学んだことは日々の暮らしと結びつきにくいでしょう。野田村や大槌町の実践が示しているのは、防災を地域の歴史や暮らし、人とのつながりのなかで学ぶことの大切さです。自分の住む地域を知り、好きになり、その未来に関わろうとする。そのことが、命を守る行動を考える出発点になるのだと思います。私はここに、主権者教育との共通点も感じています。地域の課題を誰かに任せきりにせず、自分たちで考え、話し合い、行動する力を育てること。震災の教訓を次の世代へ伝えるとは、そうした力を手渡すことでもあるのではないでしょうか。



2026年度第1学期
学位記授与式



去る９月２６日（土）、岩手学習センターにて「２０２６年度第１学期学位記授与式」が行われ、岩手学習センターからは１７名の方々が卒業されました。式当日は出席者一人ひとりに境野所長から学位記が授与されました。
教職員一同、卒業生の皆様が益々ご活躍されることを願っております。

今学期より「放送大学チャレンジ募金」を原資として製作された放送大学オリジナルアカデミックガウンが学習センターに整備され、式典の後に卒業生が着用して記念撮影ができるようになりました。

2026年度第1学期
岩手学習センター卒業生

【生活と福祉コース】４名
【心理と教育コース】４名
【社会と産業コース】４名
【人間と文化コース】２名
【　情　報　コース】２名
【自然と環境コース】１名
学　部　　計　１７名

2026年度第2学期
入学者の集い

学位記授与式と同日に、「入学者の集い」、「オリエンテーション」および学友会主催の「交流会」も開催されました。

卒業生、新入生、在学生、そして先生方が一堂に会し、軽食を囲みながら、和やかな雰囲気の中で交流を深めるひとときとなりました。









グランドスラム達成

放送大学岩手学習センターでは、このたび新たにお二人の方が　グランドスラム(※)を達成されました。メッセージをいただきましたのでご紹介いたします。

なお、岩手学習センターにおいて、現在グランドスラム達成者は計13名です。

視聴学習室には、名誉学生顕彰額を飾っております。



※　放送大学のグランドスラムは、学部6コースすべての学位記を取得した学生を学長が讃える名誉学生の称号です。

苅間澤　勇人 さん （1997年入学）

このたび、名誉学生とお認めいただき、たいへんうれしく思っております。これまでお世話になった皆様に、心より御礼申し上げます。

私の学生番号は「971」で始まりますので、放送大学に入学したのは1997年です。入学から30年目を迎える年に、このような節目を迎えられることを、とてもありがたく感じています。

岩手大学工学部を卒業し、教員になった私は、教育についてもっと学びたいと思い、放送大学の扉を叩きました。当時の岩手学習センターは岩手大学農学部の植物園内にあり、その後、図書館に併設されました。その頃、学生時代に御指導いただいた齋藤徳美先生が岩手学習センター長を務めておられました。センターでお会いした際に、「学ぶことは大事だ、がんばれ！」と励ましていただいたことを、今でもよく覚えています。

「発達と教育」専攻で学ぶうちに、教育学や心理学への関心が深まり、面接授業も数多く受講しました。その学びをもとに認定心理士の資格を取得し、公民の教員免許や専修免許も新たに取得しました。こうした学びや資格は、教師としての仕事に大いに役立ちました。

今は福島県の大学で、教師を志す学生たちに教育学を教えていますが、自分自身も一人の学習者であり続けたいという思いで、これまで学びを続けてきました。来年度末には定年を迎えます。最近は書道にも興味を持ち、少しずつ学んでいます。退職後は、教育学や情報科学とともに、こうした新しい学びもさらに深めていきたいと思っています。

卒業は一つの節目であると同時に、新たな学びのスタートでもあります。これからも好奇心を忘れず、自分のペースで学び続けていきたいと思います。

今後も引き続きお世話になることと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



おめでとうございます！！

野中　正昭　さん（2001年入学）



～　境野所長と野中さん　～

ナナカマドの実がオレンジ色の濃さを増すこの時期、卒業となります。長らくお世話になりました歴代センター長をはじめ職員の皆様に改めてお礼申し上げるとともに、同日卒業の学友の皆様と喜びを分かち合いたく存じます。現在、学んだ事で地域に役立てればと「認知症サポーター」としてボランティア活動に参加して2年目となりました。振り返ると入学は、2001年（平成13年）の2学期、植物園のイチョウが黄色くなった頃でした。あっという間に26年が過ぎました。定年5年前に職場で、生涯学習を奨励されたことが入学動機で、科目履修生として1科目「プログラミング入門（’00）」だけ申し込みました。客員教授、都倉信樹氏の放送授業での温厚で優しい口調と通信指導では私の拙い質問への自筆での丁寧な回答が懐かしく思い出されます。

また感心させられた事として、年配ながら東日本大震災で奥様をなくす悲しみにめげず8年かけしっかり卒業された方、お亡くなりになる直前まで勉学に向き合った方などが印象深く、学習継続の励みとなりました。

なお課外の「研修旅行」、「ボウリング大会」、「ループタイ中央の七宝焼き飾り作成」、「お花見」、「はがきサイズの水彩画作成」、「春夏秋冬の植物園と岩手山の景色」、「漢文同好会活動」など楽しい時間を過ごさせていただきました。

最後に、漢文同好会で知った唐代の劉希夷（りゅう きい）の漢詩の一節を感傷的に引用してみます。「年年歳歳花相似たり　歳歳年年人同じからず」。思うに植物園は毎年変わらず花を咲かせ、頭よ冴えよと学生に新鮮な酸素を提供し続けます。岩手学習センターの環境も毎年変わりません。人については、学生は入学し卒業し、職員は着任し退任して変わっていきます。卒業する私たちの次には、新たに意欲に燃える入学生の登場となります。センターの皆様、今後とも新入生・在学生の学習充実のためのお力添えの継続をお願いいたします。

野中さんにおかれましては、所用のため午前開催の学位記授与式への出席が叶わなかったものの、午後に来所していただき、境野所長から学位記が授与されました。アカデミックガウンと名誉学生ストールがとてもお似合いです。

卒業生の皆さんから メッセージ をいただきました



佐々木　毅 さん

ー社会と産業コースー

先生や事務職員、学生仲間のおかげで卒業する事が出来ました。ありがとうございました。







石井　満 さん

ー社会と産業コースー

高校生の頃に諦めた大学進学という夢を放送大学との出会いによって約30年越しに果たすことができ、それから約10年をかけて卒業することができました。途中、投げ出したくなったこともありましたが、必ず卒業するという目標を掲げて学び続けてきました。

幅広い年代の皆様と一緒に机を並べた面接授業は、非常に新鮮で楽しい時間でした。素晴らしい学びの環境をいただいた放送大学に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

学位記授与式後、卒業生と先生方による懇談会も行われました。



事務室からのお知らせ 1

放送授業・一部オンライン授業

Web通信指導について

重要

Web通信指導を提出し、合格しなければWeb単位認定試験を受験できません。
期日までに必ず答案を提出してください。
原則Web通信指導による提出（郵送提出科目を除く）となりますので、
問題冊子の送付はありません。 ⇒Webによる提出が困難な場合※1

〈Web〉※評価対象となるのは1回目の提出のみ。
11月5日(木)10時 ～ 11月25日(水) 17時
〈郵 送〉※郵送提出科目、Webによる提出が困難な場合に限ります。
11月11日(水)～ 11月25日(水)【本部必着】

各科目の出題形式は「授業科目案内」で確認

- Web通信指導 問題閲覧方法･･･システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル
- Web通信指導 提 出 方 法･･･システムWAKABA→学内リンク→Web通信指導
- Web通信指導 受理確認方法･･･システムWAKABA→学生カルテ→単位修得状況情報

※1 自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web通信指導による提出が困難な方は、10月15日時点で単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、10月下旬に問題冊子を送付（印刷教材とは別に発送）しています。
受験場所が「自宅等」になっている方が郵送提出を希望する場合は学習センターまでお問合せください。

※通信指導に関しての詳細は、学生生活の栞（学部：P69～73、大学院：P74～78）をご覧ください。

＊２０２６年度第１学期に登録した科目で通信指導を未提出、または不合格だった方＊
今学期に限りWeb通信指導を提出することで、単位認定試験の受験資格を得られます。



学生証の受取はお済みですか

学生証は、写真票を提出しシステムWAKABAに登録された上で、学習センターから発行されます。
写真が未提出の方は、システムWAKABAの「学生カルテ」から直接顔写真を登録するか「学生生活の栞」の巻末の写真票（システムWAKABAからダウンロードもOK）で、お早めに本部学生課へ提出願います。学生証は、学習センター利用時に必携となります。学生証の受け渡しは、入学許可書の提示、または古い学生証との交換になりますのでご持参ください。
郵送をご希望の方や、遠方にお住まいの方は、岩手学習センター宛に以下3点をお送り願います。
①入学許可書のコピー
②顔写真付の身分証明書の コピー
③返信用封筒（住所・氏名明記、110円切手貼付）

事務室からのお知らせ ②

Web単位認定試験のための**パソコン操作体験会**について

下記の日程で開催しますので、ご希望の方は、お電話等にてご予約の上、開始時間までに会場にお越しください。

【日 時】 1月7日(木)・1月12日(火)　各日 13:30～14:30
【会 場】 岩手学習センター　4階(実習室)
【定 員】 各回 5名
※複数回ご参加いただいても構いません。(空きがある場合)
※都合により変更が生じる場合があります。
※上記日程で都合がつかない方は、岩手学習センターまでお問い合わせ願います。

注)ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン操作に不安がある等のご事情により、学習センターにてWeb受験を希望する方は、必ずご参加ください。
なお、ご自宅等にて受験予定の方でも参加いただけます。

重要

Web単位認定試験について学習センターでの受験を希望する場合は、以下いずれかの方法で受験場所の変更手続きをしてください。今学期からの変更は、11月25日(水)が期限【郵送の場合は期限内必着】です。

【申請方法】 1. システムWAKABAで変更手続き
「教務情報」→「変更・異動手続」→「単位認定試験受験場所変更」
2. 単位認定試験受験場所変更願(学生生活の栞 巻末様式15)を郵送提出

※変更手続きについて詳しくは学生生活の栞(学部:P75～76、大学院:P80～81) をご確認ください。

「Web単位認定試験体験版」が利用可能です

受験に使用する予定の端末からシステムWAKABAにログインし、
2026年度第2学期単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

ゲスト用でも体験できます⇒



システムWAKABA



２０２６年度　第２学期
面接授業・ライブweb授業の追加登録について

追加登録できる期間は、それぞれの科目の開講日の1週間前までとなります。

満席や、授業準備の関係で追加登録を1週間前まで受け付けられない科目もありますので、ご了承ください。

- 追加登録の手続き方法は「利用の手引」27～28ページでご確認ください。
- 対象者は2026年度第2学期に教養学部に在籍する学生（特別聴講生は除く）です。
- 各科目の空席数・追加登録受付期限日は、岩手学習センター3階の教務掲示板やシステムWAKABAで確認、または事務室へお問い合わせください。
- 授業日時、授業会場等詳細は『2026年度第2学期面接授業シラバス』をご覧ください。
  面接授業シラバスは、今学期からペーパーレス化により、原則として印刷物はお送りしておりません。ウェブサイトからご確認をお願いいたします。ウェブサイトでご覧いただくことが難しい方には、学習センター事務室で印刷物を配付します。郵送を希望される方は、送付先を記入した返信用のレターパックライトを学習センターへお送りください。

２０２６年度第２学期面接授業シラバス北海道・東北ブロック版はこちら↓





～　2026年度第1学期の面接授業の様子です　～

『共修生』制度のご案内
―“放送大学”で大学の授業を体験してみませんか―



- 「共修生」として聴講できる方
  - →本学学生（単位修得済み科目の復習をする教養学部生、および大学院生）
    教養学部生は「共修生」として、以前受講した科目を再受講することも可能です。
    但し、単位の修得はできません。
  - →本学の学籍を持たない一般の方　ぜひ、ご家族や友人、知人にご紹介ください。
- 受講料は6，000円／1科目です。（手数料として200円／1科目も必要です。）
- 受講の際は、8回全ての時限に出席することを原則とします。
- 単位の修得、認定証等の発行はできません。

教養学部生で単位修得を希望される方は、追加登録にてお申し込みください。

Wi-Fi 学習センター内の利用について

面接授業BYODやセンターでの学習に

利用を希望される方は下記①～③の手順により、手続きを行ってください。

①情報セキュリティ研修の受講（システムWAKABA放送大学自己学習サイト）

②無線LAN利用申請
システムWAKABA内にある「各種届出・申請様式」の「無線LAN利用申請書（オンラインについて）」に掲載されている参考URLから申請します。

※郵送やFAXによる申請・交付は不可

③無線LANへの接続　※再度申請サイトにアクセスすることで割り当てられたIDを確認することができます。

システムWAKABA

ご活用ください



放送大学ウェブサイト → 「在学生(WAKABA)」 → 「システムWAKABA(教務情報システム)」 → ログイン

放送大学ウェブサイト

＞在学生(WAKABA)





システムWAKABA

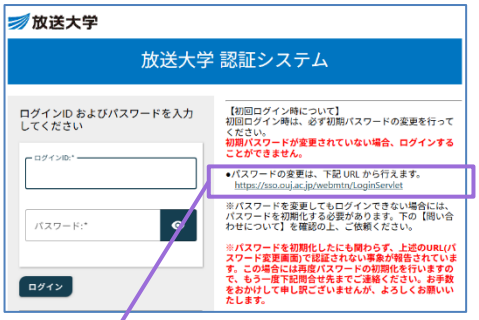


- 放送授業のインターネット配信
- Web通信指導
- Web単位認定試験
- 過去の単位認定試験問題・解答等
- オンライン授業
- 面接授業(第2学期)のページ

初回ログイン時について

必ずご確認ください！

初回ログイン時は必ずパスワードの変更を行ってください。
初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません。
※初期パスワードは入学許可書に記載されています。



〈初期パスワード変更方法〉

①左記QRコード
②https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet
※上記①か②、または システムWAKABAログイン画面から変更操作を行ってください。

パスワードを変更してもログインできない場合、パスワードを初期化する必要がありますので、下記にご依頼ください。
〇学習センター　℡:019-653-7414
〇学生サポートセンター　℡:043-276-5111
〇教務課教務係e-mail:kyoumuka@ouj.ac.jp

ロックアウトされた方や、パスワードを忘れてしまった方もこちらへお問い合わせください。

センター外視聴施設のご案内

各市及び市教育委員会のご協力により、奥州市に「水沢校」釜石市に「釜石校」二戸市に「二戸校」が開設されています。お近くにお住まいの方はどうぞご利用ください。

各施設ともスペースの関係上登録人数の多い科目や配架希望のあった科目の放送教材を優先的に配架しています。

各施設には放送大学職員はおらず、学生の皆さまにその利用をお任せしています。マナーを心掛けてご利用くださいますようお願いいたします。



放送大学岩手学習センター 水沢校

所　在　地：水沢地区センター1階　奥州市水沢聖天85－2
電　　話：0197(23)3165
利用時間：月曜日～日曜日(水沢地区センターの休館日を除く)
　　月～土　…8:30～21:00
　　日　　…8:30～17:00



放送大学岩手学習センター 釜石校

所　在　地：釜石市青葉ビル1階　釜石市大町3－8－3
利用時間：9:00～21:00(年末年始を除く)

※ 施設を利用する際は、事前予約が必要です。
予約先【釜石市市民生活部まちづくり課】平日8:30～17:15
TEL　0193(52)0070

・釜石校は放送大学学生に限らず、どなたでもご利用できます。



放送大学岩手学習センター 二戸校

所　在　地：二戸市立図書館3階　二戸市石切所字狼穴1－1
電　　話：0195(23)3447
利用時間：火　～　金　…　9:00～17:00
　　土・日・祝　…　10:00～17:00

・二戸校は放送大学学生に限らず、どなたでもご利用できます。
・館内ではご自身のパソコンや携帯端末を持ち込んで使用することもできます。
・Wi-Fiでインターネットが自由に利用できます。
・配架科目の印刷教材も準備されています。

センター外視聴施設に配架している科目の一覧表を配布しています。
ご希望の方は、岩手学習センター事務室へご連絡ください。一覧表を差し上げます。

センター外視聴施設への放送教材配架の希望を随時受付しています。
毎学期1人2科目まで受付します。
詳しくは、岩手学習センターへ直接お問い合わせください。
(※水沢校・釜石校・二戸校窓口では受付できません。)

※新規科目によっては配架までに1～2ヶ月かかる場合もありますので、科目登録後早めにお申し込みください。
※本部から教材が届き次第、施設に配架します。配架されるまでの間は、郵送貸出(本部宛)をご利用ください。

お問い合わせ先：放送大学岩手学習センター(TEL：019-653-7414)

教務スケジュール

最新のスケジュールはこちらからご確認ください

休所日　○ 面接授業　□ 単位認定試験期間

11月						
月	火	水	木	金	土	日
						①
2	3	4	5	6	⑦	⑧
9	10	11	12	13	⑭	⑮
16	17	18	19	20	㉑	㉒
23	24	25	26	27	㉘	㉙
30						

◇ 5日(木)　**(Web) 通信指導　受付開始　＜11月25日(水)17時まで＞**
◇ 7日(土)　博士全科生　2027年度入学者第2次選考(面接試問)
◇14日(土)・15日(日)　修士全科生　2027年度入学者第2次選考(面接試問)
◇21日(土)　公開講演会〈岩手大学教育学部〉、大学説明会〈岩手学習センター〉

11月の面接授業
● 7日(土)・ 8日(日)　「公衆衛生学概説」「地域づくりと地域経済」
●14日(土)・15日(日)　「被服材料とプラスチックの科学」
●21日(土)・22日(日)　「こどもの放課後の居場所」
●28日(土)・29日(日)　「地域社会における健康支援」「西洋近世美術史入門」



12月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	⑤	⑥
7	8	9	10	11	⑫	⑬
14	15	16	17	18	⑲	⑳
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

◇12日(土)　大学説明会〈岩手学習センター〉
◇18日(金)　修士全科生(2年次)　修士論文提出期限
◆ 中旬　入学時既修得単位認定通知　送付(※全科履修生対象者)
◇26日(土)～31日(木)　休所日

12月の面接授業
● 5日(土)・ 6日(日)　「初めて学ぶ中国語」「心理学実験1」
●12日(土)・13日(日)　「みんなの健康をまもる:公衆衛生」「特別支援教育の実践」
●19日(土)・20日(日)　「＜アート化＞とは何か」



1月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

◇1日(金)～4日(月)　休所日
◇ 7日(木)・12日(火)　パソコン操作体験会(Web単位認定試験用)
◆中旬　次学期科目登録申請要項　送付　(次学期も学籍がある学生)
◇16日(土)　休所日(大学入学共通テスト)
◇17日(日)～25日(月)　**Web単位認定試験期間**
◇30日(土)　大学説明会〈岩手学習センター〉



天候や災害等により、臨時休所となる場合があります。変更が生じた場合は、岩手学習センターのウェブサイト等でお知らせしますのでご確認ください。

【編集後記】
2学期がスタートしました。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。在学生の皆様も気持ちを新たにスタートされたことと思います。間もなくWeb通信指導の提出期間となります。忘れずに提出しましょう。そろそろ雪の便りが届く頃となりましたが、秋の味覚を満喫して元気に過ごしましょう。　(武藤)